須磨海岸における健全化の取り組み
～誰もが利用しやすい海岸を目指して～



目　次

１．須磨海岸について

２．健全化の取組み

３．官民連携による魅力ある海辺空間の創出

須磨海岸の概要

○砂浜延長：約1.8km

○JR三ノ宮から須磨駅まで13分
（須磨駅から徒歩１分！）

○須磨シーワールド、ヨットハーバー等が隣接

○海水浴場利用者数：約15万人/年（2026年）





課題の顕在化（2000～2010年代）

○ 海水浴客のマナー悪化が深刻化
（入墨の露出、喫煙、泥酔、飲酒に伴うトラブル、花火等の騒音、ごみ etc.）

○ 2010年には海の家で麻薬を使用したとして５人が逮捕される事件が発生

⇒「若者が騒ぐ賑やかな海水浴場」というイメージが定着

> **海水浴場で麻薬、少年ら5人逮捕　神戸、使用の疑いなど**
>
> 2010年8月16日 13:09
>
> 神戸市須磨区の須磨海水浴場で、合成麻薬のLSDを隠し持っていたなどとして、兵庫県警須磨署は16日までに、麻薬取締法違反の疑いで、大阪府内に住む大学生の男（20）と、会社員や無職などの少年少女4人（いずれも19）を逮捕した。
>
> 男と少年2人の逮捕容疑は13日午後9時ごろ、須磨海水浴場などでLSDなどを隠し持った疑い。少年少女は13日までに麻薬を使用した疑い。

出典：日本経済新聞

条例の制定（2008年～）

「須磨海岸を守り育てる条例」（2008年）

・概要：迷惑行為の厳格な禁止と罰則の制定

・特徴：違反者には**「20万円以下の罰金」**
全国的にも非常に厳しい内容でスタート

- □ 音響機器などによる**「騒音」の禁止**
- □ 夜間の**「花火」の禁止**
- □ **車両の乗り入れ禁止**
- □ 指定場所以外での**「喫煙」の禁止**
- □ その他の迷惑行為等の禁止



「条例」改正（2011、2022年）

・2008年の条例は「騒音・花火・喫煙」などの迷惑行為を規制

・しかし、これだけでは風紀の乱れを止められず、さらに規制を強化

- □ **入れ墨の露出禁止**、乱暴な言動の禁止（2011年）
- □ **水上バイク航行禁止**（2022年）



海の家のルール見直し





○ 酒類の販売規制：**アルコール度数40度以上の酒類提供の禁止(2014年)**

○ イベント規制

○ 占用許可 ⇒ **公募制の導入(2020年)**

○ 営業時間の見直し：９～21時 ⇒ **9～19時**（酒類販売は18:30まで）

○ 騒音規制：音響施設の貸与

○ 建築基準法の遵守

○ インフラ（上下水道、電気）を市が区画まで引込み

海水浴期間中の監視体制の強化

○ 警備員、警察官、市職員による巡回
○ 防犯カメラ、スピーカー設備の整備
○啓発看板の増設など





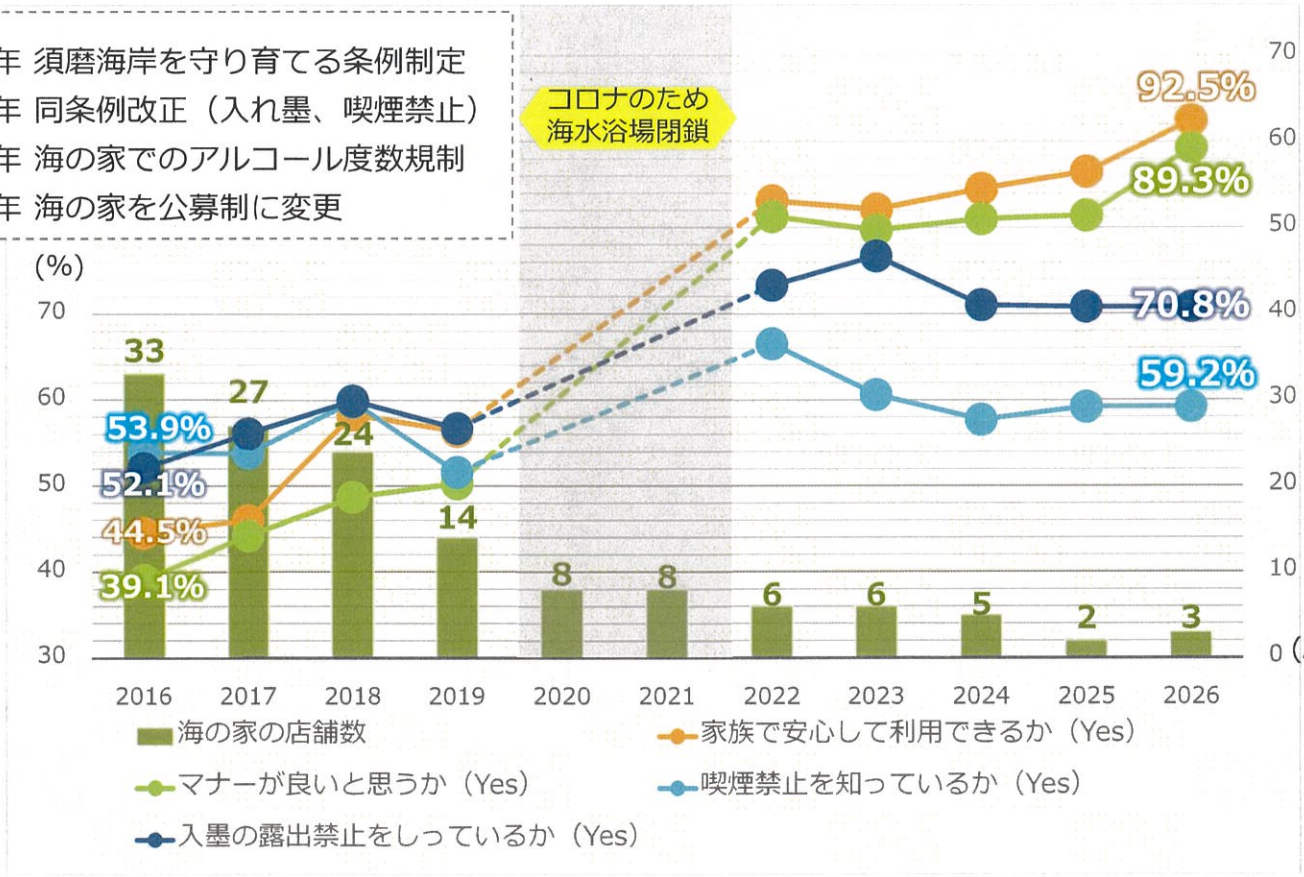






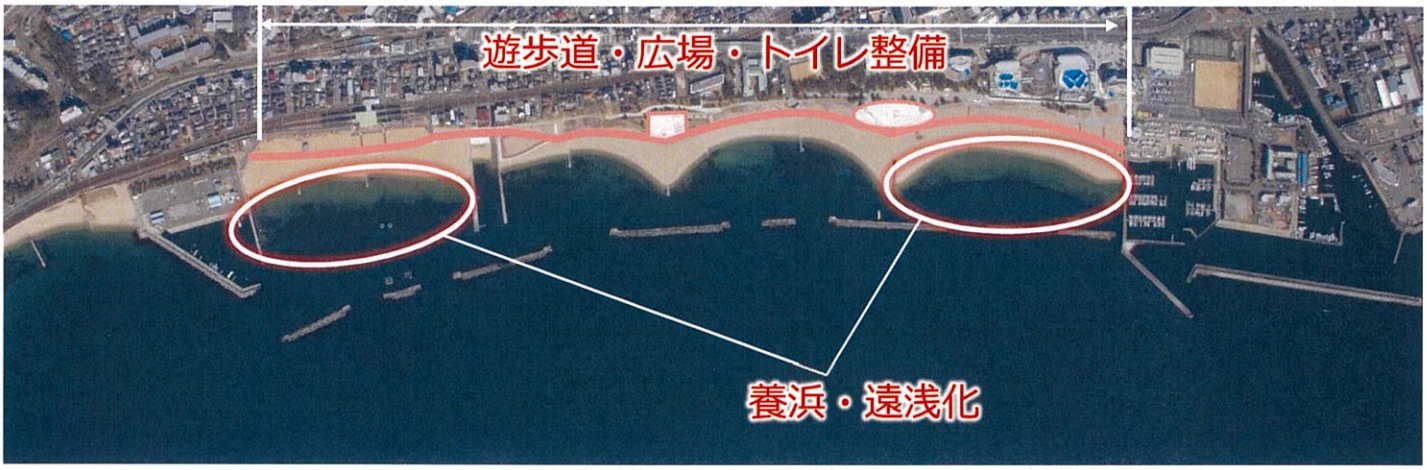
海水浴客へのアンケート調査

2008年 須磨海岸を守り育てる条例制定
2011年 同条例改正（入れ墨、喫煙禁止）
2014年 海の家でのアルコール度数規制
2015年 海の家を公募制に変更



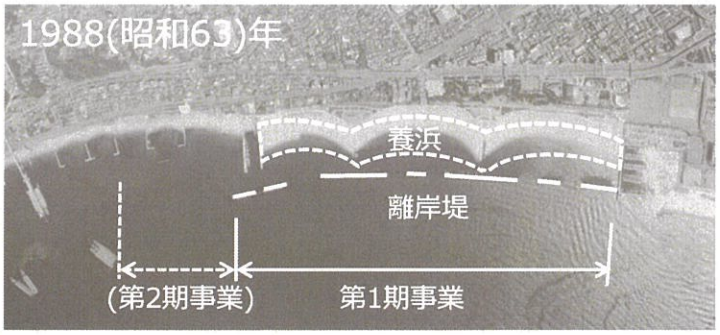
ハード面の整備推進 (2015年度～)

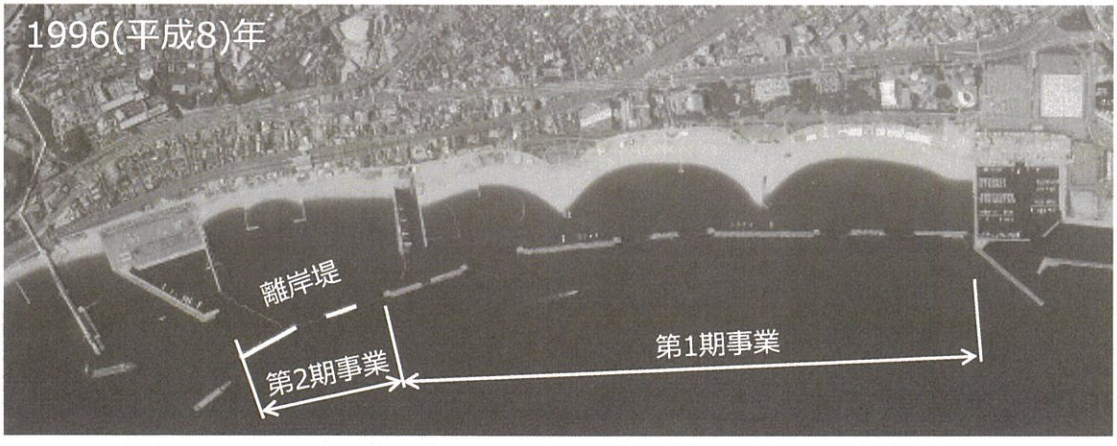
- 財政状況の改善を受け、平成27年度より養浜事業を再開
  家族連れ等も安心して楽しめるよう、JR須磨駅前と東側エリアを遠浅化整備
- 遊歩道や広場、トイレについてはバリアフリーにも配慮した形で再整備
- 遊歩道には、フットライトを設置し、夜間景観にも配慮



過去の養浜事業(1973～1996年度)



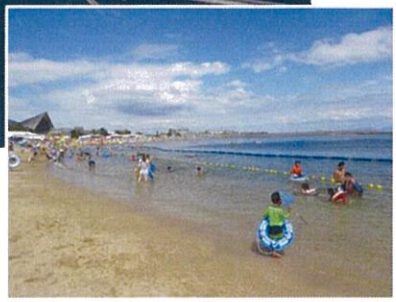




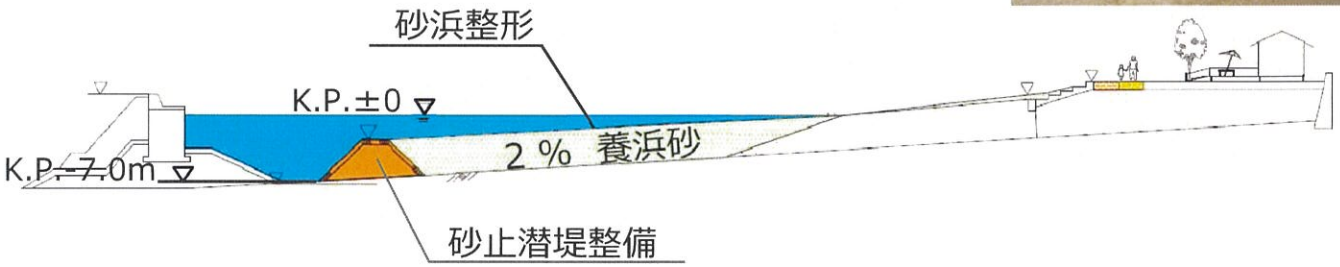
国土地理院

養浜・遠浅化（2015年度～）

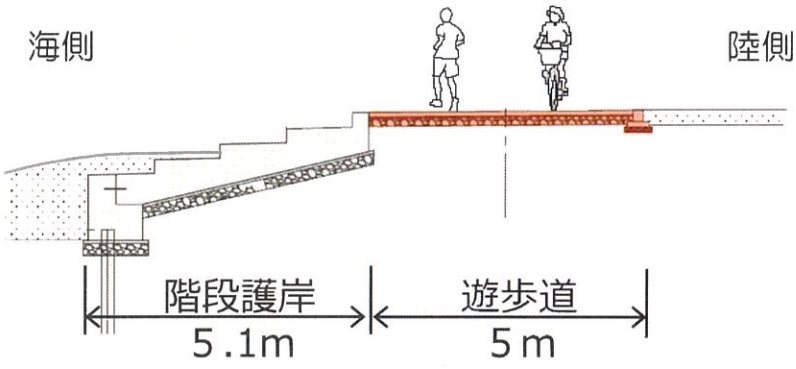


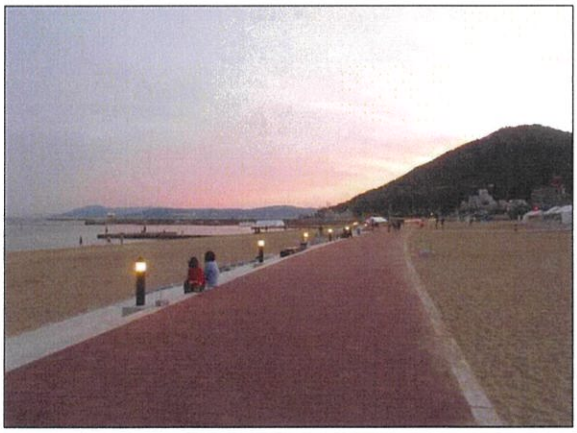


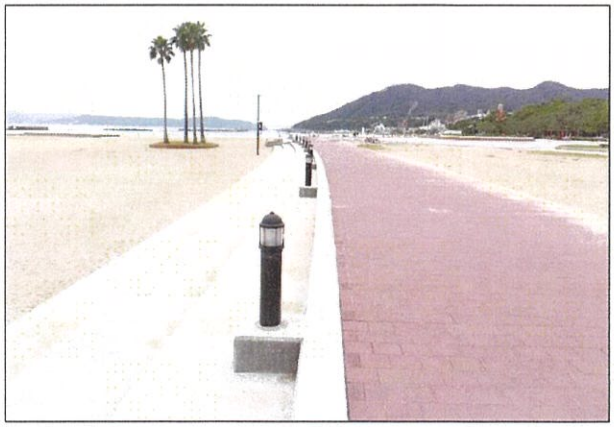
砂浜A－A'断面図



遊歩道・フットライト・階段護岸の整備

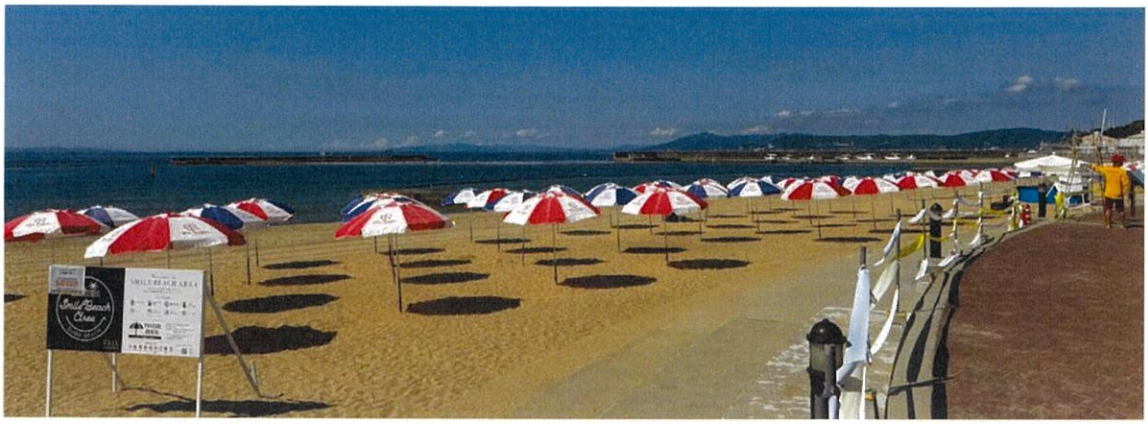








スマイルビーチエリア



入口の状況



だれもが安心して楽しめる環境の提供

・各入口に係員と看板設置
（酒の持ち込み・飲酒、禁煙、入れ墨露出）
・クラゲ除けネット
・無料パラソル
・ライフセーバー、警備員の配置

NPO法人や市民ボランティア活動との連携

NPO法人 須磨ユニバーサルビーチプロジェクト 2016～









NPO法人や市民ボランティア活動との連携

一般社団法人 須磨里海の会 2016～


社会教育


同定会


地域連携活動



野外試験


底質環境の保全活動


モニタリング調査

NPO法人や市民ボランティア活動との連携

NPO法人 神戸海さくら等によるスマイルビーチプロジェクト 2017～



ビーチクリーン



ゴミの分別回収



ブルーフラッグ認証

○ 2019（令和１）年４月、ブルーフラッグ認証を取得
（国内4番目、関西で初）
○ 2023（令和５）年6月、ベストプラクティス賞（世界2位）
○ 2023（令和５）年12月、ブルーフラッグ協会賞を受賞
○ 2026（令和８）年まで８年連続取得



ブルーフラッグ協会賞受賞
（市港湾局長(左)、協会代表理事(右)）

Suma豊かな海プロジェクト 2022年～



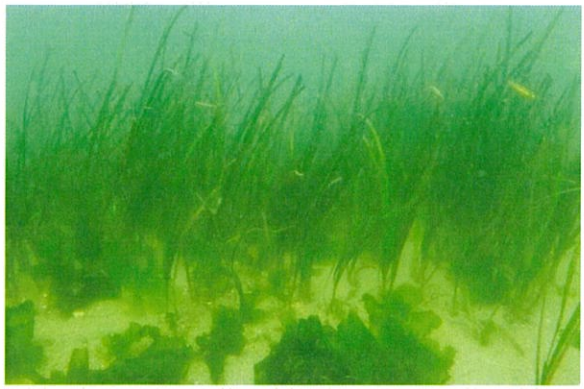
○ ただ海岸をきれいにするだけでなく、「海の生態系や生物多様性を守り育てる」ことを目的に活動

- アマモの種まき
- ワカメの株付け、収穫
- 稚魚の放流
- 地曳網
- ビーチクリーンなど

地域に根ざしたサステナブルな取り組みを実施



Suma豊かな海プロジェクト 2022年～









○ 2025(令和7)年　自然共生サイト（環境省）に認定！

その他のビーチ利用の一例

○ 2023年から日本最大級のビーチスポーツの祭典「ジャパンビーチゲームズ須磨」を開催。 ビーチバレーボールの中学生大会なども同時開催









